

♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



21年 10月 NO. 179

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～

10月の主な活動

～お気軽にどうぞ～

10月 3日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
10月 3日	土	木工教室 14:00～16:00	工具や材料もありますので オリジナル作品を作りましょう。
10月 11日	日	創立63周年記念運動会 9:00～13:00	築地小学校運動場にて9時から。乳児さん の出番もあります。(雨天中止)
10月 16日	金	おはなしの会 10:30～11:30	季節を感じるおはなしが 楽しいよ!
10月 17日	土	実用筆書き講座 14:00～16:00	初めて筆を持つ人 大歓迎!
10月 21日	水	香川みずぶさんの会 14:00～16:00	みずぶさんの詩と子育てについて フリートークしますので、どなたでもどうぞ。
10月 24日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て体験に おいで下さい。
10月 30日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり 相談できます。(予約要)

・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)
・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放します
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、
保育園生活、入園・見学について
の相談もどうぞ。

金子みすゞ童謡全集より

ねんねの汽車が知るばかり。
お夢の汽車は、
誰も持ったお土産は、
お夢の汽車は、
お夢の汽車は、

おめざの窓に見て過ぎて、
おめざの窓に見て過ぎて、
おめざの窓に見て過ぎて、

硝子の塔のてっぺんに、
硝子の塔のてっぺんに、
硝子の塔のてっぺんに、

赤い線路をひた走り。
赤い線路をひた走り。
赤い線路をひた走り、

ねんねの汽車は出る、
ねんねの汽車は出る、
ねんねの汽車は出る、

ねんねの汽車



市医師会看護専門学校^の学生さん41名が8/4～9/2まで実習をしました。その記録から各クラス別にご紹介しましょう。

ことり

ことり組で実習して（平成20年4月～21年7月生）

- 「マンマたべよー」というと手洗い場へ行き、自らが手を出し洗う仕草をすることができている。座る位置はこどもの欲求に気づき、子どもの表情やしぐさが分かるよう視線が合うよう保育士は前に座り、子ども3～5名並んで保育士が観察しやすい人数で行う。
- 1歳6ヶ月の子どもについて——体全体を使ってのあそびが主で歩行も安定してきている。乳歯も6本はえ、食事も大人と同じ内容のものである。排便も有形で大泉門も閉鎖しつつある。遊びの中で「ボールちょうだい」などのことばが理解できる。他の子どもに玩具を渡している子どももいる。



つくし

つくし組で実習して（平成19年11月～20年3月生）

- 朝の体操をして体を動かすことで体にリズムをつけている。また全員であいさつし、お礼をすることで集団生活のマナーを身につけている。全員が同じ方向を向き、先生の話聞くことで聞く時の態度を身につけている。
- ピアノや音楽に合わせて体を動かしたり、ことばは上手に言えないが、メロディーに合わせて大きな声で歌ったり体全体を使ってのびのびと活動できており、豊かな情操が育まれている。



はと

はと組で実習して（平成19年4月～19年10月生）

- あそびについて——自我がめばえ、自分なりのやり方でものごとを行いたいという自己主張が強くなっている。「イヤ」と言って拒絶したり、自分の思い通りにならない時は激しく泣いたり、だだをこねたりす行動が見られた。遊びは子どもの発達と密接にかかわっていて知的材能や運動材能の発達とともに、周囲との社会性を獲得する場となる。
- 体操の中で「おでこ」「おなか」など体の一部を指す体操をしていた。理解力に差があるため、分からない子もいるが、毎日の生活の中にレクリエーションという形で教育を取り入れることが、子どもの成長発達につながることで重要である。



つぼみ青

つぼみ青組で実習して（平成18年4月～19年3月生）

●すぐ眠ってしまう子もいる中、なかなか眠れず布団の上で動き回ったりしている子もいる。睡眠を阻害する要因には、興奮、不安、さびしさ等がある。午睡は1日の必要睡眠量を夜間だけでなく日中の睡眠によって補い、眠りが足りないと機嫌が悪くなったり、注意力が低下したりするため安全面の観点からもできるだけ行う方が良いと考える。

●排泄の失敗を叱るとトイレに行くことをいやがったり、神経質になってかえって失敗が増えたりするので、焦らず見守る。兄弟が生まれると環境が変化し、精神的に不安定になったとき、退行現象が表れ甘えが強くなる。トイレトレーニングは情緒の安定をはかりながらゆっくりすすめる。そのためには日頃から園児の様子や家庭内の事情を把握しておく。



つぼみ赤

つぼみ赤組で実習して（平成18年4月～19年3月生）

●ほとんどの園児がスプーンを使用して食事をしているが、中にはおはしの子どもも見られる。あそび食べなどの行為が見られることもあり、食事に関する問題が生じやすい時期でもある。楽しい環境で食べられるよう援助し、行儀良く食事がとれるようにしつけることが、良い食習慣を身につけることにつながる。

●大人のように身体の異常を訴えることができなかつたり、上手に伝えることが難しいため活気のなさや、いつもと違う状況に注意深く観察していく。



さくら

さくら組で実習して（平成17年4月～18年3月生）

●なかよしデーで輪投げ時に大きい子が小さい子に輪を貸してあげたり、投げる位置を教えたりする行為が多く見られた。大きいクラスになると、年下の子どもに対しても優しさや、順番などのルールを守るということもできている。

●「制作おじぞうさま」準備物品の説明（はさみ、のり、クレヨン）を聞き、園児がそれぞれ自主的に準備することができている。切る、貼る、書くを時間内に行うことができ、成長発達を理解することができた。



ほし

ほし組で実習して（平成16年4月～17年3月生）

●それぞれ子どもたちの食事量が違っていたが、月齢による満腹感はもちろん、完食できたという達成感を与えるため一人一人個人差のある量であった。あらかじめ少なくしていれば完食できるし、足りなければおかわりしてもらおう。

●ごっこ遊びや自分たちでルールをつくることで想像力を養うことができるため、自発性や創造性を養うよう保育する必要がある。礼拝を1日数回行い、心のゆとり、礼儀正しさ、自然の恵み、全ての物への感謝の気持ちを持つことができ、人間性格形成によい影響となっている。



すみれ

すみれ組で実習して（平成15年4月～16年3月生）

●2日間にわたり、園児との遊び、活動、コミュニケーションの関わりを持ち、年長児の成長の高さを感じた。昨日の楽器演奏のパート、日直、活動の中で自らの役割を見い出していることが感じとれた。それは指導・保育の高さを示すだけでなく、精神的発達をも示している。日常生活の多くを保育所で生活し、過ごしてきた学びの表れともいえる。同時に発達に応じて個人差も見られ、個別に応じた保育の大切さを感じた。

●保育者は、今、子どもがどのようなことに興味や関心を持っているか等を知っておく必要がある。また、子どもの目の輝き、遊びの展開のようすなどを見守りながら、保育者も遊びに加わったりしてヒントや工夫をすることで、子どもにより一層の遊びによる発達の効果が得られると考えられる。



～ 編集後記 ～

学生さんたちは、8月の暑い中、汗びっしょりで子どもたちとよく遊んでくれました。41人中男性が19人で子どもたちは毎年楽しみにしています。実習前にはクラスで実習する学生さんの自己紹介写真を張り出しますが、「今日はこのお兄ちゃん先生や」と毎日チェックしている子どもたちもいます。初めて子どもと接する学生さんたちもいますが、想像していた以上に子どもたちの能力の高さに驚き、感動し、体力も必要と実感した実習だったようです。

（堀）

